

広報とうかい 人・自然・文化が響き合うまち Tokai

June

[No.712]

6・10

Bi-monthly Magazine
for The People of Tokai

2004年[平成16年]

Contents [6月の主な話題]

●平成16年度村政運営の基本方針…………… 2
質の高い生活空間を目指して…
平成16年度予算が可決

●ず〜むあっぷ「まちの風景」…………… 7

●住民の皆さんは今、JCO臨界事故をどう受け止めているのか…………… 8
株ジェー・シー・オー東海事業所・旧転換試験棟内設備の保存・撤去
に関するアンケート結果を報告します

●青少年育成体験記(PART. 51)―[白方]照沼克衛さん……………12
P T A活動にかかわって

●今どきの青少年(VOL. 61)―[石神内宿]久保田未来さん……………13
私たちと一緒に歌いませんか!

●知ってほしい! 国民健康保険……………14

●図書館トピックス……………15

●いんふおめーしょん……………16

●わが家の子育て奮戦記……………20
[白方]田中美由紀さん・翔太くん・淳也くん



質の高い生活空間を目指して… ～平成16年度一般会計予算が可決～



暫定予算でスタートした平成16年度も早や2か月。この度、5月20日に行われた臨時議会で平成16年度一般会計予算が可決されました。村民の皆さんにはご心配・ご不便をお掛けしたことを深くお詫びするとともに、今後とも村政へのご協力をよろしく願います。

現在、村では東海村第4次総合計画「とうかい21世紀プラン」をまちづくりの指針に据え「人・自然・文化が響きあうまち」をテーマに薫り高き文化、誇り高き伝統、豊かな自然を次世代に残していけるよう、村政運営に取り組んでいるところですが、これからの時代、村の明日を築くためには皆さんの積極的な行政参加が不可欠です。質の高い生活空間を目指し、役員職員と皆さんが手を携えて共に歩んでいく。協働という言葉の下、東海村の明日を共に築き上げていきましょう。

村政運営の基本方針

東海村長 村上 達也

政府の行財政改革の焦点は、今や地方自治制度の改革に収斂しつつあります。その第1弾は、市町村合併特例法による市町村合併と地方財政の効率化推進であり、茨城県では83市町村のうち61市町村が法定ないし任意の合併協議会を設立し、那珂郡では7町村のうち東海村を除いた6町村が今年度の合併を目指しています。

そして第2弾として政府は、平成17年3月の合併特例法失効後の新たな合併促進法制定による合併の促進を計画しているようで、それ

は昨年11月に出た地方制度調査会答申にうかがえます。これは「都道府県主導で小規模市町村を重点的に合併を推進する」などを柱とするものです。このような情勢の中、東海村は「自主自立」を基本方針として取り組んでいます。かねてより私は「村には行政力・財力がある。35000人の高い能力を持った住民がいる。だからこそ、単独で行財政運営が可能」と言ってきましたが、この1年、地方行政の変化・進展をみると、従来踏襲の村政では置いていかれてしまうと危惧しています。来年は東海村が誕生して50年。将来にわたり「自主自立」で行政運営が可能な村を目指し、村政の高度化にまい進していけるよう念願しているところです。

現在、村では東海村第4次総合計画「とうかい21世紀プラン」を基本とし、3か年の「実施計画」に基づいて村政運営を執行しています。その理念は、経済優先の考えから、人と環境を優先する行政に転換し、行政の透明度を高めて住民参加を促し、住民との協働による行政を確立することです。そのため①「福祉」：「茨城県一の福祉のまち」を目指した保健福祉事業の推進。②「環境」：循環型社会の構築を目指す環境行政の確立。③「教育」：教育分権時代の到来をにらんだ先進的・独創的教育政策の推進。④「農業」：地域の文化と環境を支えている農業の再生・振興。これらを行政の4本柱としています。今年度も事業内容の高度化を進めていくと同時に、過去の成果を検証し、後期基本計画の策定に広範な住民の協力を得て取り組む予定です。

次に、住民との協働についてです。地方自治の原点は住民自治であり、地方行政の高度化はいかに住民との協働ができるかです。住民参加のさらなる促進を目的に、これまで以上に行政からの情報公開、情報提供を図ります。また、地方自治のもう1つの原点は地域自治です。地域コミュニティの再生・強化を目的に、区長会を中心に検討を進めている区制度改革の成案を今年度中に策定し、平成17年度から自治会制度に移行したいと考えています。国立大学の独立法人化、専門職大学院の制度化に伴い、大学院の設立構想が生まれつつある村に、平成20年度に大強度陽子加速器が稼動する予定です。それに伴い、高エネルギー加速器研究機構の研究者約2000人がつくば市から転入してきます。また、国外から年間1000人から1200人、国内からは3000余人もの研究者の来村が予想され、様相が研究学園都市の要素を交えたまちへと大きく変わることが考えられることから、村内から人材を集め、高度科学



村の福祉行政のシンボルともいえる総合福祉センター

研究文化都市構想の策定に取り掛かろうと考えています。この受け入れ体制をどうするか、村民の総力を挙げて取り組む喫緊の課題とと思っています。

総合福祉センター「絆」は、充実した運営に努め、村民の期待に応えたいと思います。また、急増する福祉関連需要に適切に対処することを目的に、福祉課を社会福祉課と高齢福祉課に分割しました。さらに、福祉部門では引き続き地域福祉コミュニティづくりに取り組みます。その他、2つの民間保育所が開所しました。さらに、平成17年度の開業に向けて、特別養護老人ホームが船場地区に建設される予定です。

東海病院の移転・改築にあたっては80床が確保できました。今後は、病床数の増加に伴った新病院体制づくりが大きな課題になりますので、平成18年度の開業に向けて設置した新病院建設準備室で推進します。

教育部門では、石神小学校が平成15年度の3学期から新校舎で授業を始め、また、図書館指導員を村内全小中学校に1人ずつ配置し、さらに、村立図書館を社会教育課から独立した教育機関としました。

環境部門では、平成15年度に念願の国際規格ISO14001の認証を取得したことから、平成16年度はさらに村の温室効果ガスの排出量削減に向けて基礎調査を実施し、国際規格ISO14001を村内に普及させるための基盤づくりを行う考えです。また、環境先進都市としての施策体系の構築を行い、来年度開催予定の

環境自治体会議東海会議で村を全国にアピールしようと考えています。

地域文化の基盤である農業は、地域環境保全にその景観とともに大きく貢献しています。このような事も踏まえた上での就農者の支援策を考えてい

ます。また、有機栽培などを中心に農業の推奨と地産地消の推進に取り組む必要があります。その他、建設・土木などの他の行政部門においても人と環境を優先し、これらに配慮した施策手法に転換していきます。

大変厳しい時代状況にあることは東海村も例外ではありませんが、それでも東海村発足50周年を節目に新たな飛躍の時を迎えています。福祉・教育・環境・農業どれをとっても質の高い生活空間を目指し、村の貴重な財源を持続的に永続的な発展が可能なまちにするための基盤づくりに投入していきたいと思えます。

「遠くをはかるものは富み、近くをはかるものは貧す」とは二宮尊徳の言葉です。この言葉を肝に銘じて取り組んでいきます。



子どもたちの夢と未来を育む石神小学校の新校舎

平成16年度の主な事業と予算

村の事業は複雑で多岐にわたっています。そこで、新規・充実を図った主なものを中心に取り上げました。継続事業は「○」、新規の事業は「●（新規事業）」と表示しています。なお、詳しくは企画財政課財政係(☎282局1711 内線1232)へお問い合わせください。

安心して住めるまちづくり

原子力防災対策の充実

○防災無線放送施設整備管理事業(1525万円)：防災行政無線の整備など、適切な管理を行います。

消防防災体制の充実

○救急救命士養成事業(328万円)：救急業務の高度化に対処するため、計画的に救急救命士を養成し、病院前救護(プレホスピタルケア)の充実を図ります。今年度は救急救命士を1人養成します。

自転車によるまちづくりの推進

●(新規事業)自転車によるまちづくり事業(186万円)：東海駅や村内公共施設に、無料で自由に使用できるレンタサイクル自転車を配置し、自転車利用の促進を図ります。循環を基調とする生活環境と公害のないまち

●(新規事業)省エネルギー推進事業(700万円)：平成15年に実施したエネルギー需要実態調査の結果を受けて、地球温暖化対策や省エネルギーについて検討するとともに、小型

風力発電装置を設置するなど、生活環境向上の啓発を行います。

○可燃・不燃・粗大ごみ収集事業(5492万円)：生活圏から発生するごみを迅速かつ衛生的に処理するために、収集・運搬態勢の整備効率化を進めます。また、今年度からハッピーマナー(月曜祝日)のごみ収集を実施します。

●(新規事業)ISO14001環境マネジメントシステム維持管理事業(161万円)：村が行う事業の環境負荷を継続的に低減するため、内部監査や職員教育の実施など、環境マネジメントシステムを適切に運用管理します。

●(新規事業)環境自治体会議とうかい会議開催事業(927万円)：平成17年度開催予定の環境自治体会議の開催に向けて、環境保全へのさらなる意識向上を図ります。

支えあっているまち

出会い・ふれあい・支えあいを実現する福祉のまちづくり

●(新規事業)総合福祉センター運営管理事業(1億2432万円)：利用者が安心して利用できるように、適切な維持管理を行います。健康で介護不安がなく、安心して住み続けることができ、自由に生きがいを追求める豊かな

地域社会

○筋力トレーニング事業(93万円)：身体機能の低下によって陥る高齢者の要介護の状態を予防するため、村の医師、保健師、理学療法士、健康運動指導士のもと筋力トレーニングを行

い、運動機能の低下を防止し、日常生活の動作改善を図ります。

●(新規事業)寝具乾燥消毒サービス事業(464万円)：寝具の衛生管理が困難な高齢者等に対し、寝具の乾燥消毒を行い、健康の保持を図ります。

村民が共に生きていけるような環境づくり

●(新規事業)身体障がい者デイサービス事業(1950万円)：就労が困難な在宅の身体障がい者が通所し、文化的活動、社会適応訓練などを行うことにより、地域における生活の場を広め、身体障がい者の自立を支援します。

●(新規事業)知的障がい者デイサービス事業(3200万円)：就労が困難な在宅の知的障がい者が通所し、文化的活動、社会適応訓練などを行うことにより、地域における生活の場を広め、知的障がい者の自立を支援します。

●(新規事業)児童デイサービス事業(380万円)：心身に障がい、または発達に遅れのある就学前児童に対し、必要な訓練指導などを行い、個々の児童の発育・発達を促進します。子どもたちが健やかに育ち将来を力強く生きていくための環境づくり

子どもたちが健やかに育ち将来を力強く生きていくための環境づくり

○学童クラブ整備管理事業(4264万円)：学童クラブを計画的に整備することで、児童の健全育成を図り子育てを支援します。今年度は中丸学童クラブの実施設設計・造成工事、村松学童クラブの建設工事を実施します。

○次世代育成支援行動計画策定事業(227万円)：子どもが健やかに生まれ育つ環境を整備

するため、平成15年度に行ったニーズ調査を基に次世代育成支援行動計画を策定します。

健康づくりの推進

- (新規事業)健康づくり計画推進事業(268万円)：健康づくり推進計画を策定するとともに、策定後は推進委員会において執行状況等について協議し、健康づくり事業の村民への周知と浸透を図ります。

地域医療体制の確立

- 東海病院建設事業(6億9785万円)：地域医療の確保、質の高い医療サービスの提供を図るため、今年度から新しい村立病院の建築工事に着手します。

個性といきがいを育むまち

明日を担う子どもたちの育成

- 学校図書館指導員設置事業(1763万円)：児童生徒の日常生活における読書活動を推進し、学校図書館活用を促進するため、学校図書館指導員を全小中学校に配置します。
- スタディサポーター設置事業(5065万円)：生徒の学習意欲を引き出すとともに、基礎的な学習内容の理解を高めるため、英語、数学、理科の各教科にスタディサポーターを配置します。
- 小学校専科指導員設置事業(1062万円)：音楽、図工、理科の学習指導に専門的な知識・技能を持つ人材を活用し教育の充実を図ります。
- 石神小学校建設事業(2億8457万円)：校舎等の全面改築に引き続き、今年度はグラウンド

整備工事・プール建設工事等を実施します。

- (新規事業)読書推進事業(89万円)：1日図書館員や職場体験学習などのほか、今年度より乳幼児から読書に親しんでもらうことを目的にブックスタート事業を実施します。

ふれあいのある地域社会の形成

- (新規事業)東海村発足50周年記念事業(452万円)：平成17年3月31日をもって東海村が発足50周年を迎えるに当たり、記念事業を行い、郷土意識の高揚を図ります。
- 豊かな人間性を育む環境づくり
- (新規事業)久慈川河川敷運動公園整備事業(2390万円)：村民の健康や体力の維持増進、スポーツ・レクリエーション活動の推進を図るため、スポーツ広場を整備します。

新たな可能性を創るまち

魅力ある農業振興

- (新規事業)いばらき農業元氣アップチャレンジ補助事業(67万円)：農業者・地域の意識改革の足掛かりとして、安全・安心な野菜づくりを実践するグループを支援します。
- (新規事業)バイオマス活用フロンティア推進事業(159万円)：減農薬、減化学肥料による農作物の栽培を推進するため、もみ殻や生ごみ等の有機性資源による堆肥の構造および堆肥製造の手法等について検討します。

快適で人にやさしいまち

都市機能の適正配置と整備

- 住居表示事業(1236万円)：住所表示の混乱を、建物に番号を付すことで解消します。今年度は下ノ内地区で実施します。

潤いあるまちづくり

- 都市計画道路整備事業(9770万円)：基幹道路である小松原笠内線、五反田線、石神外宿原電線の延伸整備等を計画的に行います。

信頼でつながる自治のまちづくり

住民参加のまちづくり

- いきいき地域活力事業(1870万円)：村民の自主的・自発的な地域活動を支援するため、地域活性化事業を行う地区に助成します。
- 男女共同参画社会の実現
- 高度科学研究文化都市構想策定事業(663万円)：大強度陽子加速器の建設に伴って国内外から来村する研究者やその家族を受け入れるために、環境整備等の調査・検討を行います。

国際交流の推進

- 在村外国人支援事業(348万円)：在村外国人の日常生活を支援するため、外国語による生活情報の提供を行います。今年度は、ハンダグ・中国語版ハンドブックを作成します。
- 効率的な行財政運営
- 東海村第4次総合計画後期基本計画策定事業(285万円)：東海村第4次総合計画(とうかい21世紀プラン)の基本テーマ「人、自然、文化が響き合うまち」実現のため、前期基本計画(平成13年度～17年度)の達成度を検証し、平成22年度までの後期基本計画を策定します。

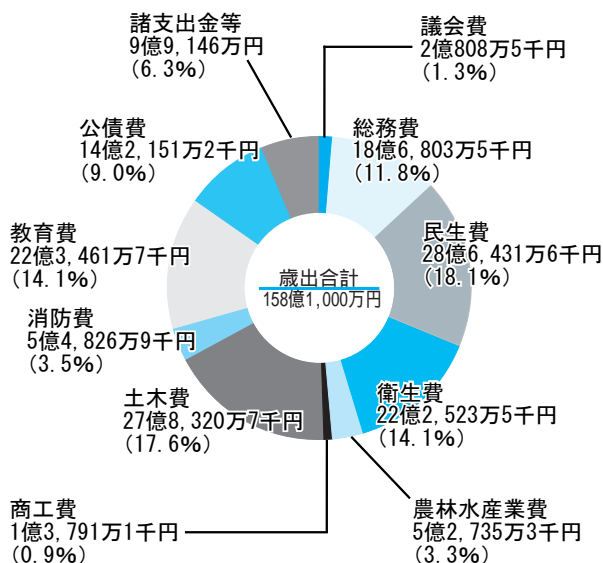
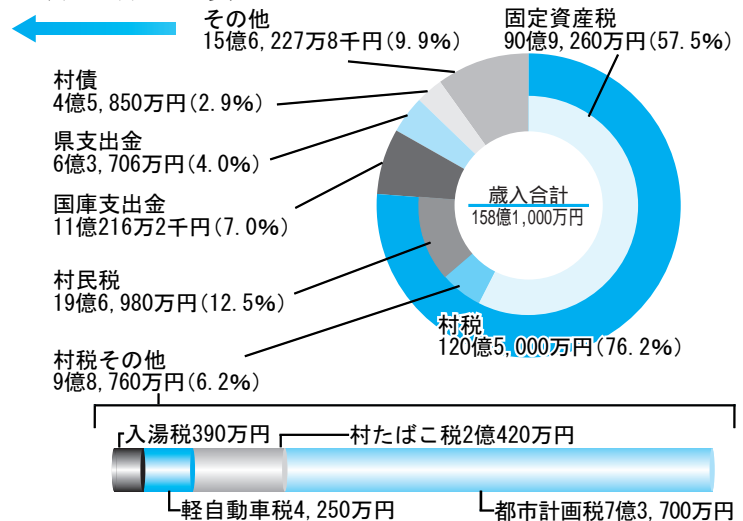
平成16年度予算 会計別予算

平成16年度一般会計予算が東海村議会臨時議会で決されました。今年度の一般会計予算は対前年度比の2.2%増の158億1,000万円です。これに特別会計85億1,254万円、企業会計23億8,439万円を加えた予算規模は、総額で267億693万円となっています。

会計名	平成16年度 予算額	平成15年度 予算額	増減率 %
一般会計	158億1,000万円	154億7,000万円	2.2
特別会計	85億1,254万円	79億6,063万8千円	6.9
国保健康保険事業会計(事業勘定)	21億5,875万円	18億7,700万円	15.0
老人保健事業会計	20億6,500万円	21億4,415万円	-3.7
介護保険事業会計	10億8,520万円	9億3,666万円	15.9
東海駅西土地区画整理事業会計	1億4,550万円	1億780万円	35.0
東海駅東土地区画整理事業会計	3億9,660万円	4億2,830万円	-7.4
東海駅西第二土地区画整理事業会計	2億9,410万円	3億3,020万円	-10.9
東海中央土地区画整理事業会計	5億7,330万円	3億3,730万円	70.0
公共下水道事業会計	17億5,000万円	17億9,900万円	-2.7
公園墓地須和間霊園事業会計	4,409万円	22万8千円	19,237.7
企業会計	23億8,439万円	23億7,234万円	0.5
水道事業会計	9億4,150万円	10億3,010万円	-8.6
病院事業会計	14億4,289万円	13億4,224万円	7.5
合 計	267億693万円	258億297万8千円	3.5

その他の内訳	予算額
地方譲与税	2億1,300万円
利子割交付金	4,400万円
配当割交付金	610万円
株式等譲渡所得割交付金	81万5千円
地方消費税交付金	3億7,900万円
自動車取得税交付金	7,000万円
地方特例交付金	1億3,900万円
地方交付税	500万円
交通安全対策特別交付金	700万円
分担金および負担金	1億9,532万3千円
使用料および手数料	1億724万7千円
財産収入	1,929万2千円
寄附金	1千円
繰入金	6,394万8千円
繰越金	2億円
諸収入	1億1,255万2千円
合 計	15億6,227万8千円

一般会計予算



歳出の性質別内訳	予算額
人件費	34億2,513万9千円
物件費	28億7,577万7千円
繰出金	24億7,164万9千円
普通建設事業費	17億7,254万5千円
単独事業費	13億6,630万4千円
補助事業費	1億8,754万2千円
その他建設事業費	2億1,869万9千円
公債費	14億2,150万2千円
補助費等	11億5,373万2千円
扶助費等	8億5,230万2千円
その他	18億3,735万4千円
維持補修費	7,663万1千円
災害復旧費	1万1千円
積立金	13億9,535万9千円
投資および出資金	2億5,525万円
貸付金	6,010万3千円
予備費	5,000万円
合 計	158億1,000万円



●「春の交通安全運動街頭キャンペーン」実施

「春の全国交通安全運動街頭キャンペーン」が、4月7日の午前7時30分から、舟石川地内の交差点で行われ、村交通安全対策協議会やひたちなか西地区交通安全協会など、交通安全運動を推進する団体の方々63人が参加。「運転中メールひと文字 事故一生」のスローガンの下、参加者は①自転車の安全利用の推進②シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底——を通勤途中のドライバーや登校する中学生に呼び掛けたり、自転車の簡単な整備点検を指導したりするなど、交通事故防止の啓蒙に努めていました。



●自家製のお味噌づくりに挑戦します！

4月22日、中央公民館で「スローフードの食づくり」と題して「こうじづくり」が中央公民館講座の一環として行われました。今回の講座には、日本の伝統的な食文化を残したいとの思いから近隣市町村でさまざまな料理づくりの講師としてボランティア活動を行っている蛭田三雄さん(日立市在住)を講師として招きました。蛭田さんのユーモアを交えた説明のおかげで終始笑顔の絶えない講座に、参加者の1人は、つくり上げたこうじを前に「これから自宅でお味噌づくりに挑戦してみます」とうれしそうに話してくれました。

●地域の歴史や自然に親しむ一日

4月24日、真崎コミュニティセンター(園部実センター長)の自主事業として、「ふるさと探訪」が実施されました。この催しは、真崎地区の歴史や自然などに親しんでもらうことを目的としたもの。同コミュニティセンターを起点に、6つのポイントを見学する“ふるさと探訪コース”は、新緑の香りが心地良く、地域の自然を満喫できる道のり。ゴールとなった阿漕ヶ浦公園で、東海村民話再生の会(関村徹雄代表)会員の方から、細浦の民話の由来などを聞いた参加者たちは、地域の歴史や自然を存分に楽しんでいました。



（株）ジー・オー東海事業所・旧転換試験棟内設備の保存・撤去

に関するアンケート結果を報告します

アンケートの集計に当たって

アンケートの集計結果

平成11年9月30日、（株）ジー・オー東海事業所・転換試験棟（現・第3管理棟）で起きた「JCO臨界事故」から4年8か月が過ぎました。この間、同社は、同社等を被告人とする刑事裁判で有罪判決を受け、「ウラン再転換事業」の再開を断念することを発表。検察庁からは事故証拠品保全義務の解除を受け、昨年8月29日に、国（文部科学省）に対し「旧転換試験棟内設備の撤去工事」の申請を行いました。

「JCO臨界事故」は、国内初の死者を伴った原子力災害であり、住民の皆さんをはじめ、国内外に大きな衝撃を与えました。村では、これを時の経過とともに風化させることなく、歴史的遺産、後世への教訓とするため、昨年9月5日、安全を確保した形での設備保存を同社へ申し入れるとともに、同10月7日には、国に対して保存に向けた要望書を提出しました。国では、現在、同社からの撤去申請の保留要請を受け、申請に伴う審査を中断しています。

「住民の皆さんは今、あの事故をどう受け止めているのか？」。村では、広く意見を聴き、民意を確かめた上で、「保存」か「撤去」かをあらためて判断しようと、昨年末に「避難要請区域内の住民（A群）」「住民基本台帳から無作為抽出した3000人（B群）」「同12月12日の住民懇談会の出席者（C群）」を対象としてアンケート調査を実施しました。その集計結果がまとまりましたので、概要についてお知らせします。

▼アンケートの配布数、回収数、回収率は表Iのとおりです。
 ▼回答者については、性別および年齢別の集計のみを示しました。
 ※回答者自身について尋ねたQ8については、表I・表IIに反映してあります。

表 I

対象者	配布数	回収数				回収率
		男性	女性	無回答	合計	
避難要請区域内住民（A群）※1)	—	157	144	18	319	—
無作為抽出者3,000人（B群）	3,000	524	556	52	1,132	37.7%
住民懇談会出席者（C群）	35	14	8	7	29	82.9%
合計		695	708	77	1,480	

※1) 避難要請区域内住民（A群）については、配布戸数は152戸（中学生以上を対象）、回収戸数は110戸で、戸数としての回収率は72.4%でした。

表 II

対象者	年齢別								合計
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70以上	無回答	
A群	23	40	33	39	70	61	37	16	319
B群	1	112	223	180	229	264	103	20	1,132
C群	0	1	2	5	6	7	5	3	29
合計	24	153	258	224	305	332	145	39	1,480

9・10ページに、アンケートの集計結果を示します。各数値欄の上段が回答者数、下段が各対象群の回答者総数に対する割合（%）です。
 以下、各設問ごとに、主としてA群とB群の結果の比較について若干の解析を付してご紹介します。

Q1について

▼総合計を見ると①が64%で、いまだに多くの人が、JCO臨界事故の記憶を消し去ることができないでいることが分かります。

Q2について

▼A・B群共に①、②合わせて50パーセント強で、約半数の人が「見てみたい」と考えているようです。

Q3について

▼A・B群共に、①が60%前後、②が約25%で、割合として大きな違いがないことは注目すべきことと考えます。ただし、①と答えた人が次のQ4でどう答えているかを、この件でさらに追跡した結果、「撤去計画は理解できる」という選択肢を文面どおり『設備撤去に賛成である』とした人と、『会社の方針としての撤去計画は理解できる（が、設備の撤去については必ずしも賛成しない）』とした人がA・B両群にいたることが分かりました。

従って、A・B群共に、約25%の人は明らか

〔11ページに続く〕

アンケートの集計結果

Q 1 (株)ジェー・シー・オー東海事業所での臨界事故(JCO臨界事故)から4年が経過しましたが、事故のことについて今あなたはどのようにお考えですか？

選 択 肢		A群	B群	C群	総合計
①	臨界事故のことは、今も鮮明に記憶しており忘れられない	214 67%	712 63%	22 76%	948 64%
②	臨界事故のことは、忘れかけている	58 18%	272 24%	3 10%	333 22%
③	臨界事故のことは、できる限り忘れようとしている	16 5%	66 6%	3 10%	85 6%
④	臨界事故のことは、思い出すことがない	13 4%	35 3%	0 0%	48 3%
⑤	その他	12 4%	43 4%	0 0%	55 4%
無回答		8 2%	8 1%	1 3%	17 1%
合 計		321	1,136	29	1,486

Q 2 一般住民を対象に事故現場見学会が実施されるとしたら、あなたは見学を希望されますか？ ただし、事故のあった沈殿槽からは、その構造材に含まれる不純物(コバルト-59等)に中性子が照射されたことにより、放射性物質(コバルト-60等)が生成されたため、2m離れた地点で約2マイクロシーベルト/時の放射線が計測されています。

選 択 肢		A群	B群	C群	総合計
①	一度は見てみたい	67 21%	204 18%	12 41%	283 19%
②	安全なら見学したい	101 31%	391 34%	7 24%	499 34%
③	見たいとは思わない	117 36%	492 43%	8 28%	617 42%
④	関心がない	20 6%	27 2%	0 0%	47 3%
⑤	その他	6 2%	14 1%	1 3%	21 1%
無回答		10 3%	6 1%	1 3%	17 1%
合 計		321	1,134	29	1,484

Q 3 (株)ジェー・シー・オーは、事故のあった旧転換試験棟の設備を撤去する計画であり、既に国に対してその許可申請をしているところです。これに関しお尋ねします。

選 択 肢		A群	B群	C群	総合計
①	撤去計画は理解できる	189 59%	736 65%	15 52%	940 63%
②	撤去計画には反対である	78 24%	279 25%	11 38%	368 25%
③	関心がない	35 11%	48 4%	0 0%	83 6%
④	その他	10 3%	48 4%	1 3%	59 4%
無回答		9 3%	27 2%	2 7%	38 3%
合 計		321	1,138	29	1,488

Q 4 同設備の撤去計画について、どのようにお考えですか？

選 択 肢		A 群	B 群	C 群	総合計
①	事故を風化させないために実物を保存する⇒Q 5～Q 8へ	77 24%	300 26%	8 28%	385 26%
②	実物は現在の場所から撤去、ただしほかの場所に保存する ⇒Q 5～Q 8へ	55 17%	161 14%	5 17%	221 15%
③	実物は現在の場所から撤去、ただし現在の場所にモニメント等で残す⇒Q 8へ	30 9%	185 16%	3 10%	218 15%
④	実物は放射性廃棄物として廃棄物保管棟に保管する⇒Q 8へ	30 9%	101 9%	2 7%	133 9%
⑤	建屋を含めきれいさっぱり撤去してほしい⇒Q 8へ	89 28%	311 27%	8 28%	408 27%
⑥	関心がない⇒Q 8へ	28 9%	41 4%	0 0%	69 5%
⑦	その他	4 1%	30 3%	2 7%	36 2%
	無回答	9 3%	7 1%	1 3%	17 1%
	合 計	322	1,136	29	1,487

Q 6 「Q 4」で「①」または「②」に○を付けた方にお尋ねします。実物を保存する場合、見学についてどのようにお考えですか？

選 択 肢	A 群	B 群	C 群	総合計	
① 一般の人が見学できるようにする	105 79%	394 85%	11 85%	510 83%	
② 一般の人まで見学できるようにする必要はない	15 11%	36 8%	0 0%	51 8%	
③ 特に考えていない	2 2%	15 3%	0 0%	17 3%	
④ その他	3 2%	8 2%	0 0%	11 2%	
	無回答	8 6%	13 3%	2 15%	23 4%
	合 計	133	466	13	612

Q 5 「Q 4」で「①」または「②」に○を付けた方にお尋ねします。実物を保存する場合、どこに置くのがよいとお考えですか？

選 択 肢	A 群	B 群	C 群	総合計	
① 現在の場所	71 53%	277 59%	9 69%	357 58%	
② 村内のほかの場所	41 31%	136 29%	4 31%	181 29%	
③ 特に考えていない	8 6%	24 5%	0 0%	32 5%	
④ その他	13 10%	29 6%	0 0%	42 7%	
	無回答	1 1%	3 1%	0 0%	4 1%
	合 計	134	469	13	616

Q 7 「Q 4」で「①」または「②」に○を付けた方にお尋ねします。実物を保存する場合、保存・管理についてどのようにお考えですか？

選 択 肢	A 群	B 群	C 群	総合計	
① 国・県等に働きかけ、保存・管理させるべき	80 59%	301 61%	8 62%	389 61%	
② 事業者責任として保存・管理していくべき	34 25%	122 25%	3 23%	159 25%	
③ 村の予算を使ってでも保管・管理すべき	12 9%	43 9%	1 8%	56 9%	
④ その他	2 1%	14 3%	0 0%	16 2%	
	無回答	8 6%	13 3%	1 8%	22 3%
	合 計	136	493	13	642

※割合の合計は四捨五入の関係で必ずしも100%にならない場合があります。

かに「撤去計画に反対」であるが、撤去に賛成かどうかの割合は、この設問の結果からだけでは判定できません。

Q4について

▼A・B群共に、①が25%前後、②が15%前後で、合わせると約40%の人が何らかの形で「実物の保存」を選択し、一方「撤去」とする選択肢では、③がA群は9%、B群は16%、④がA・B群共に9%、⑤がA群は28%、B群は27%で、合わせると、A群としては46%、B群としては52%の人が「実物の撤去(廃棄)」を選択しています。

▼⑥と答えた人が、A群が9%、B群が4%で、避難要請区域内の住民、区域外の住民のいずれにも、撤去計画に関心がない人がいることが分かりました。

▼A・B両群の各選択肢の回答割合に大きな違いが見られないのは、これまでの各設問に対する回答割合と同じ傾向を示しており、事故後4年を経過した現在、A・B両群の人たちに、旧転換試験棟内設備の保存・撤去問題に対して特別大きな意識の差はないのではないかと推測できます。

▼総合計から見ても、A・B両群の結果を反映して、①と②で41%、③、④および⑤で51%となり、「実物の撤去(廃棄)」が「実物の保存」より10%多い結果となるわけですが、「保存」か「撤去」かどちらかに結論づけるには、この差は明らかな根拠になるものとは言い難いところです。

Q5・Q6・Q7について

Q5からQ7については、Q4との関連でお尋ねしたものです。

▼Q5の保存場所については、「保存はあくまでも現在の場所に」との希望が強いことを示しています。

▼Q6での見学については、「保存場所のいかんを問わず、誰もが見学できるように」との希望が圧倒的に多いことが分かります。

▼Q7の保存・管理については、「国・県等に働きかけ…」が約60%、「事業者責任として…」が25%で、「村の予算を使ってでも…」という人は約9%と少数でした。

まとめ

このアンケート調査を実施するに当たっては、避難要請区域内の住民(A群)と住民基本台帳から無作為抽出した3000人(B群)とは、旧転換試験棟内設備の保存・撤去問題に対する意識として、明らかに異なる結果が出ることを予想されましたが、集計結果は、各設問の回答者の割合から見ても分かるとおり、どの設問に対しても、両群の回答割合にほとんど違いがないことを示しています。従って、事故後4年を経過した今日、避難要請区域内の住民、区域外の住民では、設備の保存・撤去問題に対する特別大きな意識の差はないのではないかと思われる結果となりました。

そして「保存」か「撤去」かについては、Q4の解析でも述べたとおり、10%の差が明らかな根

拠になるものとは言い難く、また解析の中で③の回答者を「撤去」に分類しましたが、この③は、実物ではない何らかの形により「保存」との見方にも採れることから、慎重に判断する必要があると考えます。

なお、この集計結果については、昨年12月、村議会の「JCO第3管理棟調査特別委員会」に、避難要請区域内住民(A群)の中間集計結果(247人の回収時点分)を報告しています。

終わりに、避難要請区域内住民のアンケート実施に際しては、区長・組長をはじめ、住民の皆さんのご協力により、その回収率は極めて高いものとなりました。加えて、回収合計1480人のうち、573人(39%)の多くの人から、「保存」「撤去」についてはもちろんのこと、その他さまざまな貴重なご意見をお寄せいただきました。これらのご意見については、できるものから今後の施策に反映させ、防災とまちづくりに生かしていきたいと考えています。

アンケート結果を冊子に

アンケートに寄せていただいた皆さんからのご意見は、原文を忠実に活字化し、これらの結果と併せ、冊子としました。冊子は、原子力対策課(役場行政棟5階)において無料配布いたしますので、ご希望の方はどうぞお越しください。

問合せ

経済環境部原子力対策課原子力・防災係
282局1711 内線1520

文芸とうかい

【俳句】

そよぐ風類に伝わる遠き夢 外宿 照沼あや子
予報官花の北上加えけり 白方 柴田 一声
花万朶なまり聞きたき妻なりし

散りざまのソメイヨシノに魅せられし 村松 川崎 常義

花咲けど語らう人はすでに亡く 白方 根本 武

山野草魅せられ奥へ迷い道 外宿 西山 純一
霧にぬれ沼地に見ゆる水ばしよう

けんけんとう鳴き声のして蕨狩り 豊岡 中島エミ子

水仙の花のジュウタン色さやか 舟石川 佐藤 とよ

田植え後や畦で雉子の啼きにけり 船場 島中 睦子

蘇州クリーク紅衣の女人鮮やかに 舟石川 宮本 直

シクラメン母の寝息をそつと聞く 村松 正木 幹夫

南台 菅谷 佳枝

道治いにまぶしきままでに咲きおれば阿漕の桜わ
が心うつ 舟石川 小川志つ江
暖かなやよいの空に枝伸ばし満開となるそめい
よしのは 外宿 照沼とみえ

指導者からのメッセージ

少年育成
主 月 体験記
PART. 51



PTA活動にかかわって

東海村小中学校PTA連絡協議会会長

白方 照沼 克衛

白方小学校のPTA活動にかかわり5年が過ぎ、6年目を迎えた今年は東海村小中学校連絡協議会会長になりました。振り返ってみると、PTA活動に参加すること自体思ってもいなかった5年前でしたが、過ぎてみれば多くの方々と出会い、貴重な経験をさせていただきました。そして、何よりも子どもたちと接する機会が増えたことで、数多くの子どものすてきな笑顔に出会うことができたことは、本当にうれしい限りです。

さて、少子化が社会問題化している昨今ですが、村内では白方小学校の児童数が1番多く、年々増加傾向にあります。しかし、児童数が多いことで教育がおろそかになっ

ては困ります。幸いにして白方小学校では保護者や先生方が協働で教育に取り組み、まさに今叫ばれている「地域、家庭、学校」が一体となって積極的にかかわっているのです。それは、学校行事があるときは、事前に学校へ出向き、先生方と協議していることに垣間見ることが出来ます。このことで、先生と保護者との意思疎通、また、先生方の地域の状況把握を保護者が手助けし、子どもたちが安心して学校生活を送れるように、側面から支援しているのです。

ところで、ある本に「PTAとは教育を本旨とし、自主独立の性格を堅持し、児童及び青少年の健全育成の為に必要な正規の事業を行う（一部省略）」とあります。これは、私たち保護者がPTA活動で行うことは、「1にも2にも子どもたちのため」ということを指しているのだと思います。

そこで、保護者の皆さんに学校行事やPTA行事などに積極的に参加してもらえればと思っています。子どもたちが伸び伸びと、健やかに育ってほしいと切に願う皆さんに学校やPTAをよく知ってもらい、大いに活用してもらいたいのです。

私たちの宝である子どもたち……。そんな子どもたちに心からエールを送りたいと思います。「頑張れ将来の日本を背負うホープたち！」

在りし日の母通いたるみどり荘むなしきあとに
思い出探る

村松 高橋 正弘

東海の南中学校大木の桜満開となりたるやさ
し

船場 中井川しげ

一分間片足立ちに挑戦す骨密度増すすべのひと
つに

外宿 小林美代子

紫の藤の花咲く庭にしてライラック咲けりふる
さとの花

舟石川 工藤和一郎

森林浴に来よとも謂わんばかりなり何処の山も
若葉燃え立つ

南台 根本内俊男

山吹の八重に魅せられ峡の里春ようやくか山荘
あたり

内宿 村上 文江

「ふれあい」に今日も集いて語り合う思い出など
も遠くなりたり

外宿 高槌 すみ

ひたすらに習い覚えしどどいつを指おり数う眠
れぬ夜に

照沼 佐藤 昇

デイ・サービスの友との会話たのしくて帰宅し
てまでしあはせ気分

内宿 飛田 静峰

新緑に気持ちを引き締め子とわれは朝早きより
弓に励めり

白方 上野 光子

老いし夫心優しくなりたれば猛き昔を知るわれ
悲し

船場 村上よりこ

血糖値下げむと野菜海藻を主とせる食事になれ
て久しき

緑ヶ丘 佐藤 正

畑近く山藤の花風にゆれ八十八夜晴れつつさむ
し

船場 舛井庫之助

み社の森のかすかな木洩れ日に花すがすがと岩
うちわ咲く

内宿 深谷 粋子

久びさに訪ねし友の庭隅に熊谷草が花ゆらぎ
咲く

村松 桜井 秀子

エッセー頑張る

今どきの
青少年
VOL. 61



中央が今月のエッセイスト

私たちと一緒に歌いませんか！

東海中学校2年

石神内宿 久保田 未来

私が東海村少女合唱団に第17期生として入団したのは、小学2年生の時です。1番年齢が低かった入団当時、なかなか正しい音階を取れずに、とても苦労したことをよく覚えています。

団の練習は、毎年3月に開催する定期演奏会に向けて練習する組曲と、ミュージカルの練習が厳しくてつらいものですが、演奏会が終わった後は「団に入団してよかったです。来年も頑張ろう」といつも思います。

無事に終わった今年の定期演奏会でミュージカルの盛り上げ役になった私は、小学6年生の時に主役をもらいました。そのときは、思いっきり飛んだり、跳ねたり、大声を出したり…、お客さんよりも私の方が楽しんでいたような気がします。

そんな合唱団活動の中で1番心に残っていることは、小学5年生のときにホームステイをするために団員と行ったアメリカのアイダホフォールズ市への旅です。飛行機に乗ることが初めてだったのでドキドキしましたが、同じ団員である兄と一緒にだったことや、思ったほど飛行機が揺れなかったこともあり、あっという間に到着しました。

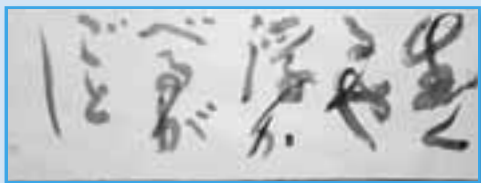
現地ではアメリカのSOSS合唱団と合同演奏会への参加やイエローストーン国立公園の見学など、楽しい旅をしました。

私は、団を卒業していった先輩方のように、いつまでも東海村少女合唱団を盛り上げて、たくさんの方の思い出を作りたいと思うと同時に、私たちの歌声で多くの人を感動させることができるような歌をうたい続けたいと思っています。来年は受験生になるため、休むことが多くなるかもしれませんが、できるだけ参加していきたいと思っています。

最後に皆さんへ一言「皆さんも私たちと一緒に歌いませんか！」

小室李谿書作展

7月4日(日)～7月10日(土)



大作「群青」は大海原の豊かな広がりや深い愛を想定し、「生くるや浮かべるがごとし」は来し方の自分を見つめながら、「千鳥と遊ぶ智恵子」は九十九里の松林の中から、なぎさで戯れる智恵子の姿を目で追った光太郎の心を思っ表現しました。

STATION GALLERY

線で描くかたち

6月20日(日)～7月3日(土)



子どもデッサン展の10周年記念企画第2弾として、審査員の先生方5人(坂本一道先生、佐藤一郎先生、大塚好雄先生、大谷嘉則先生、小室淑子先生)が描いたデッサン約40点を展示します。“線で描くかたち”の美しさを、ぜひご覧ください。

▽70歳以上の場合は、70歳以上の方は、同じ月内に外来で掛かった自己負担額の合計を、個人ごとに外来の限度額に適用します。その後、入院の自己負担額も

▽70歳以上の場合は

【70歳未満の場合】

区分	自己負担割合	自己負担限度額 ※2)
一般	3割	72,300円
上位所得者 ※1)	3割	139,800円
住民税非課税世帯	3割	35,400円

※1)基礎控除後の総所得金額が、670万円を超える世帯の方。

※2)同一世帯で、同じ月内に21,000円以上の自己負担額を2回以上支払った場合、合算して自己負担限度額を超えた分が支給されます。

▽70歳未満の場合
同じ月内の医療費の自己負担額が高額になったとき、限度額を超えた分が後から支給される制度です。所得や年齢に応じて、限度額や自己負担割合が異なります。

高額療養費ってなに？

知ってほしい！

国民健康保険 7

内線 1133)

福祉部保健年金課国保年金係 ☎282局1711

問合せ

も保健年金課国保年金係までお越しください。

該当した場合の申請はどうするの？

該当月の3か月後に、世帯主の方あてに郵送で通知します。通知が届きましたら、お手数で

【70歳以上の場合】

区分	自己負担割合	自己負担限度額	
		外来 (個人単位)	外来+入院 (世帯単位)
一般	1割	12,000円	40,200円
一定以上の所得のある方 ※1)	2割	40,200円	72,300円
住民税非課税世帯	低所得者Ⅱ ※2)	1割	8,000円
	低所得者Ⅰ ※3)	1割	8,000円

※1)70歳以上または老人保健で医療を受ける方で、課税所得が124万円以上の方がいる世帯に属する方。

※2)同一世帯の世帯主および国保の被保険者が住民税非課税の方。

※3)低所得者Ⅱのうち、控除後の世帯の所得が0円となる方。

含めて世帯で合算し、世帯単位の限度額を適用します。

平成15年度 貸し出しベスト⑤

(タイトル/著作者/貸出回数)

●一般本	●児童本
1位…『模倣犯 (上・下)』/宮部みゆき/131	1位…『ハリー・ポッターと秘密の部屋』/J. K. ローリング/161
2位…『半落ち』/横山秀夫/59	2位…『ハリー・ポッターと炎のゴブレット (上・下)』/J. K. ローリング/122
3位…『ブレイブ・ストーリー (上・下)』/宮部みゆき/51	3位…『ミッケ! 7』/ウォルター・ウィック/107
4位…『肩越しの恋人』/唯川恵/48	4位…『アンパンマンスーパー大図鑑』/やなせたかし/105
5位…『命』/柳美里/46 『るるぶ茨城』/46	5位…『かいけつゾロリけっこんする!?!』/原ゆたか/101

●CD

1位…『Distance』/宇多田ヒカル/38
2位…『となりのトトロ サウンドトラック』/33
3位…『ベスト』/加藤登紀子/31 『MISIA GREATEST HITS』/MISIA/31 『2000 best』/山口百恵/31

●ビデオ・DVD

1位…『チキチキマシン猛レース 2』/23
2位…『ぞくぞく村のおバケたち』/21 『それいけ! アンパンマンのクリスマス・ストーリー』/21 『対決! 最強のライバル戦士(ウルトラマンワールド)』/21 『ピングー 13』/21

「たんぽぽの会」によるおはなし会

日 時 毎週土曜日(第5土曜日を除く) 午後2時~3時
場 所 おはなしコーナー
内 容 絵本の読み聞かせ、エプロンシアター、手遊びなどを行います。

休館日

6月14日(月)・21日(月)
28日(月)・30日(水)
7月5日(月)

図書館トピックス

インターネット予約案内

図書館のホームページ(<http://www.tosyo.vii.tokai.ibaraki.jp/>)で本や資料の予約ができる、便利なインターネット予約サービスをどうぞご利用ください。利用を希望される方は、パスワードの登録が必要です。ホームページをご覧の上、来館して手続きを行ってください。なお、予約・リクエストの総数は、一人当たり図書10冊、雑誌2冊、視聴覚資料2点までとなります。

国民年金 だより



ご存知ですか?
保険料免除制度

保険料を納めるのが困難な方は

国民年金保険料を納めることが経済的に困難な場合に、申請によって承認されると保険料が免除されます。これを「申請免除」といいます。

免除期間の保険料の追納期間は過去10年間分
免除期間は、受給するための資格期間としては計算されますが、その期間の年金額は全額免除の場合、通常の3分の1で計算されます。ただし、年金の受給前であれば、10年前までさかのぼって保険料を納めること(追納)ができます。追納すると年金給付額は通常に戻ります。

半額免除もあります

平成14年4月から保険料の半額免除制度が導入されています。第1号被保険者で所得が一定額以下の方は、申請し承認され、残る半額を納付すると保険料が半額免除されます。

老齢基礎年金の受給資格期間には算入されませんが、その期間の年金額は、通常に納めた期間の3分の2で計算されます。

免除の判定基準

本人と配偶者と世帯主の前年の所得により審査されます。それ以外には、失業した場合や天災により損害を受けた場合などの理由で免除が承認されることもあります。

問合せ

福祉部保健年金課国保年金係 ☎ 22局1711
内線1133)

人口と世帯数

平成 16 年 5 月 1 日現在		
前月比		
世帯数	12,865 世帯	+ 64
総人口	35,281 人	+ 106
男	17,797 人	+ 57
女	17,484 人	+ 49

いいんがお めーしょん

ピックアップ / Jun.

お知らせ

参加費
無 料

県政ふれあいバスに参加しませんか

「県政ふれあいバス」は、茨城県の施設等の見学を通して、県政に対する理解と関心を深めてもらうことを目的に実施するものです。

高校生介護入門コース

- 期 日 7月29日(木)
- 対 象 県内在住の高校生
- 内 容 介護実習・普及センターほか
- 発着場所 水戸駅南口駅南大橋(午前9時出発、午後4時30分着)

親子ふれあいコースA

- 期 日 8月11日(水)
- 対 象 小・中学生とその保護者
- 内 容 県畜産センター、きのこ博物館ほか
- 発着場所 水戸駅南口駅南大橋(午前8時50分出発、午後5時着)

親子ふれあいコースB

- 期 日 8月19日(木)
- 対 象 小・中学生とその保護者
- 内 容 県畜産センター、県警察本部庁舎
- 発着場所 日立駅中央口(午前8時30分出発、午後5時着)

親子ふれあいコースC

- 期 日 8月24日(火)
- 対 象 小・中学生とその保護者
- 内 容 筑波宇宙センターほか
- 発着場所 日立駅中央口(午前8時20分出発、午後4時着)

定 員

各コース30人 ※申し込み多数の場合は抽選

そ の 他

①昼食、飲み物、筆記用具等は各自で用意してください。②雨天決行とします。

申し込み・問合せ

往復はがきに希望コースとその実施日、ならびに参加者全員(はがき1枚につき4人まで)の住所・氏名・年齢・性別・職業(学年)・電話番号を記入の上、6月30日(水)までに、茨城県県北地方総合事務所県民生活課「県政ふれあいバス」係(〒310-0802 水戸市柵町1-3-1 ☎225-2490)へ申し込みください。 ※同一コースへの複数のはがきによる申し込みはできません。

入場料
無 料

募集

「筋肉を貯める(貯筋)健康づくり講演会開催!

- 「筋肉を貯める(貯筋)」をテーマに講演会や、「貯筋体操」を行います。ぜひ、ご参加ください。
- 日 時 6月29日(火) 午後1時30分～4時
 - 場 所 総合福祉センター
 - 対 象 村内在住の方(先着160人)
 - 内 容 講演、簡単な体操(実技)
 - 講 師 福永哲夫さん(早稲田大学教授)
 - 申し込み・問合せ 6月23日(水)までに福祉部高齢福祉課高齢福祉係(内線1163)へ申し込みください。

8020高齢者よい歯のコンクール参加者募集

- 対 象 大正13年3月31日以前に生まれた方で、自分の歯を20本以上お持ちの方(治療されていても可)
- 申し込み・問合せ はがきまたはファクシミリに住所、氏名(ふりがな)、性別、生年月日、電話番号、かかりつけの歯科医院を明記し、6月23日(水)必着で、茨城県歯科医師会8020事業係(〒310-0911 水戸市見和2丁目292-1 ☎252-2561 FAX 253-1075)へ申し込みください。

家族教室参加者募集

心の病気などで同じ不安を持つ仲間とともに学んでみませんか。お気軽にご参加ください。

- 期 日 6月25日(金)
- 時 間 午後1時30分～3時30分
- 場 所 保健センター
- 対 象 精神障がい者の方のご家族
- 内 容 講話「精神科で処方される薬について」、懇談・意見交換等
- 問 合 せ 福祉部社会福祉課障がい福祉係(内線1137)

東海村役場	282-1711	東海村総合福祉センター「絆」 283-2299	地域福祉センター(総合案内・会議室の予約等)	(社福)東海村社会福祉協議会内
防災行政無線放送テレホンサービス	0120-42-4848		高齢者センター	282-4300
東海村合同庁舎(会議室の予約等)	283-3344		障害者センター	282-4599
東海村中央公民館	282-3329		児童センター	306-1017
東海村立図書館	282-3435		保健センター	282-2797
東海村青少年センター	282-7049	救急病院の案内	救急医療情報コントロールシステム	241-4199
東海村総合体育館	283-0673	東海村石神外宿浄水場(土・日曜日、祝日の断水等の連絡)	東海村消防本部・消防署	282-2038
東海スイミングプラザ	287-0807	小・中・高校生のための心の悩み電話相談室(毎週金・土曜日 午後3時30分～7時)		282-9200
東海村テニスコートクラブハウス	282-8571	東海村姉妹都市交流会館	282-0535	ひたちなか西警察署東海地区交番
東海文化センター	282-8511	東海村(基幹型)在宅介護支援センター	287-2516	東海郵便局
東海ステーションギャラリー	287-3680	(社福)東海村社会福祉協議会	282-2804	J R東日本東海駅
東海村立東海病院	282-2188	東海村在宅福祉サービスセンター	283-4344	常陸海浜広域斎場
東海村清掃センター	282-7289	(社)東海村シルバー人材センター	282-3446	災害情報案内専用ダイヤル
				283-4919

自主グループ会員募集

フォークダンス「フレンズ」

- 活動日時 毎週水曜日 午前9時30分～11時30分
- 場所 中央公民館、村内公共施設
- 会費 1,500円/月
- 申し込み・問合せ 高野清子さん(☎282-3777)

「ドンヘハングル講座」

- 活動日時 毎週土曜日 午後2時～4時
- 場所 中央公民館
- 募集人員 7人程度
- 受講料 無料
- 申し込み・問合せ 金聖潤さん(☎282-5421)

琴伝流大正琴「琴榮会」

- 活動日時 毎月第2・4金曜日 午前10時～正午
- 場所 中央公民館
- 募集人員 20人
- 会費 500円/月 ※必要経費は除く
- 申し込み・問合せ 6月13日(日)から、石川邦子さん(☎282-2781)へ申し込みください。

「東海村民話再生の会」

- 活動日時 毎週木曜日(第5木曜日は除く)
①午前10時～正午 ②午後1時30分～4時30分
※いずれかの時間帯を選択できます。
- 場所 中央公民館
- 会費 1,000円/年
- 申し込み・問合せ 関村徹雄さん(☎282-1020)

「フォークダンス愛好会」

- 活動日時 毎週金曜日 午前9時45分～11時45分
- 場所 中央公民館
- 会費 1,500円/月
- 申し込み・問合せ 大和田幸子さん(☎282-7555)

「中国語入門講座」

- 活動日時 毎週金曜日 午後6時～6時50分
- 場所 中央公民館
- 対象 中学生以上で、中国語を初めて学ぶ方(先着30人)
- 受講料 500円/回 ※テキスト代は除く
- 講師 高建華さん(常陽藝文センター常任講師)
- 申し込み・問合せ 篠原遙さん(☎282-1460)

参加費
無料

骨粗しょう症予防講座参加者募集

- 期日 ①6月30日(水) ②7月2日(金)
- 時間 午後1時30分から
- 場所 保健センター
- 対象 村内在住の方(先着50人)
- 内容 ①医師による講話「骨粗しょう症とは？」 ②健康運動指導士による体操(実技)
- その他 無料保育サービス(要予約)がありますので、ご利用ください。
- 申し込み・問合せ 6月23日(水)までに、保健センターへ申し込みください。

第12回東海村チャリティーマラソンバスケットボール大会

- 日時 6月26日(土) 午前9時～午後6時
- 場所 総合体育館
- 対象 村内在住・在勤の方(バスケットボール未経験者も歓迎します)
- 参加費 小・中学生…2,000円/チーム
高校生・一般…3,000円/チーム
- 申し込み 所定の申込書に必要事項を記入の上、6月18日(金)までに参加費を添えて、総合体育館へ申し込みください。
- 問合せ 午後6時から8時までに、岡田裕昭さん(☎282-4370)、または吉田公一さん(☎306-2880)へお問い合わせください。

参加費
無料

子ども審査員募集!

「線で描くかたち」の特別企画として、子どもデッサン展の審査員の先生方の絵を審査する子どもたちを募集します。

- 日時 6月20日(日) 午後1時30分から
- 場所 東海ステーションギャラリー
- 対象 村内在住の小学1年生から6年生
- 定員 先着10人
- その他 参加者には記念品を差し上げます。
- 申し込み・問合せ 6月12日(土)の午前9時から、東海ステーションギャラリーへ電話で申し込みください。

春の撮影会の写真展開催

東海村写真連盟では、奥日光、小田代で実施した春の撮影会の写真展を開催します。

- 期 日 6月17日(木)～29日(火) ※水曜日は休館となります。
- 時 間 午前10時～午後6時 ※17日(木)は午後1時から、29日(火)は午後3時までとなります。
- 場 所 テクノ交流館リコッティ
- 問 合 せ 根本哲成さん(写真連盟事務局 ☎283-1123)

6月の休日診療日程

診療時間	午前9時30分～正午、午後1時～2時	
問 合 せ	救急医療情報コントロールシステム(☎241-4199)	
期 日	病医院名	電話番号
13日(日)	東海クリニック	283-1711
20日(日)	東海病院	282-2188
27日(日)	尾形医院	282-4781

水戸ホーリーホックが公式戦を無料で招待!

- 日 時 6月26日(土) 午後2時試合開始
- 場 所 笠松運動公園陸上競技場
- 対 象 村内在住の方(1人1枚のみ)
- 対戦相手 ベガルタ仙台
- 申し込み・問合せ 6月25日(金)まで(月曜日は除く)の午前9時から午後9時まで(日曜日は午後5時まで)、総合体育館窓口でチケットの引き換えを行います。

参加費
無料

ソフトエアロダンス体験レッスン参加者募集

- 期 日 6月20日(日)・27日(日)
- 時 間 午後1時30分～3時
- 場 所 村松コミュニティセンター
- 対 象 村内在住・在勤の方
- 申し込み・問合せ 田所栄子さん(ジャズダンス連盟 ☎282-9777)

麦の作付けに補助金が出ます

村では、地力低下や風食被害対策として麦の作付けに補助金を交付します。

- 対 象 10月中旬から11月上旬に村内の畑地(転作奨励事業対象の陸田は除く)に種まきした麦の作付けが、平成17年3月末日まで可能な方
- 補助金額 5,000円/10アール
- そ の 他 対象者は①畑作奨励補助金等交付申請書②畑作奨励補助金等実績報告書と該当農地に麦を作付けした証明写真——の提出が義務付けられます。なお、麦の種子(規格外)は面積に応じて無料で配布します。
- 申し込み・問合せ 6月25日(金)までに申込書に必要事項を記入し、経済環境部経済課地域農政係(内線1435)へ申し込みください。

会費
無料

子育て支援事業「ピーターパンサークル」会員募集

- 遊びやリズム体操を通して、子どもたちや保護者同士の交流を深めましょう。
- 日 時 毎週水・木曜日 午前10時～11時
※詳細な日程はお問い合わせください。
 - 場 所 おおぞら保育園
 - 対 象 1・2歳児とその保護者(各曜日10組)
 - 申し込み・問合せ おおぞら保育園(☎287-3535)

乗馬仲間・ボランティアスタッフ募集

- 乗馬を始めたい子どもたちや、その子どもたちをサポートするボランティアスタッフを募集します。
- 対 象 小学5年生から中学2年生までの方
 - 定 員 15人程度
 - 会 費 2,000円/月 ※保険料は除く
 - そ の 他 ボランティアスタッフは、年齢、定員の制限はありません。
 - 申し込み・問合せ 尾崎嗣朗さん(☎282-7056)

費用
無料

「ひたちなか保健所子育て支援相談」開催

- 日 程 等 ①ひたちなか保健所…6月17日(木)、12月16日(木)、平成17年2月17日(木)
②ひたちなか市ヘルスケアセンター…8月19日(木) ③保健センター(総合福祉センター内)…10月21日(木) ※予約制
- 対 象 ①子どもにいらいらしてしまう②子どもをかわいと思えない——などの悩みを持つ乳幼児の保護者
- 内 容 心理判定員、児童福祉司、保健師等による個別相談 ※秘密は厳守します。
- 問 合 せ ひたちなか保健所健康指導課(☎265-5647)

利用料
100円/曲

エトセトラ

カラオケを利用しませんか?

- 毎月第2木曜日、総合福祉センター内の大広間にあるカラオケを、ぜひご利用ください。
- 時 間 午前10時～午後4時
 - 問 合 せ 高齢者センター

台湾サロンへのお誘い

国際交流協会では、台湾サロンを開催します。台湾についてのお話を聞いたり、踊りを鑑賞しつつ、台湾料理を味わってみませんか？

- 期 日 6月12日(土)
- 時 間 午後2時～4時
- 場 所 姉妹都市交流会館
- 参加費 会員…100円 会員以外…200円
- その他 動きやすい服装でご参加ください。
- 問合せ 東海村国際交流協会事務局(企画総務部自治推進課内 内線1343)

Invitation to Taiwan Salon

Taiwan Salon will feature a talk on Taiwan, introducing Taiwanese dance, and also taste some Taiwanese goodies. Please join with casual clothes.

- Date June 12 (Sat.)
- Time 14:00 - 16:00
- Place Tokai-mura Sister City's Hall
- Fee Member of TIA...100yen Non-member of TIA...200yen
- For further information Please call Bureau of Tokai-mura International Association at 287-0856.

となりのまちから

イベントガイド

常陸太田市 ● パルティホールの催し物

サーカス アコースティックコンサート

2003年に25周年を迎えた「サーカス」が、地元合唱団を加えてコンサートを開催します。

- ◆日 時 8月6日(金) 午後6時30分開演
- ◆入 場 料 一般…4,000円 学生…2,000円
- ※チケットは6月12日(土)から発売します。
- ◆問 合 せ パルティホール(☎0294-73-1234)

大洗町 ● 夏のイベント

海水浴場開設期間

- ◆期 間 7月17日(土)～8月22日(日)

大洗海上花火大会

- ◆期 日 7月31日(土)
- ◆時 間 午後7時30分～9時
- ◆会 場 大洗サンビーチ

'04ビーチバレー in 大洗

- ◆期 日 7月24日(土)・25日(日)
- ◆時 間 午前9時～午後4時
- ◆会 場 大洗サンビーチ

盆踊りの夕べ

- ◆期 日 8月1日(日)
- ◆時 間 午後4時～9時
- ◆会 場 大洗マリンタワー前芝生広場

八朔祭

- ◆期 日 8月28日(土)・29日(日)
- ◆時 間 28日(土)…午前8時30分～午後9時
- 29日(日)…午後3時～9時
- ◆会 場 全町・大洗磯前神社

OARAI CUP 2004 ～サーフィン&ボディボード

- ◆期 日 8月28日(土)・29日(日)
- ◆時 間 午前9時～午後4時
- ◆会 場 大洗サンビーチ

問 合 せ

大洗町商工観光課 (☎267-5111 内線331)

毎日型配食サービス事業が変わります！

食事を作ることが困難な独り暮らしのお年寄りなど(希望者)を対象とした夕食配食サービスが、6月21日(月)から村内飲食店3店のご協力により、毎日ご利用になれます。

- 費 用 1食800円(村が400円助成します)
- そ の 他 村内飲食店3店(定休日を除く)
 - …①昼食または夕食の選択が可能です。②協力範囲地区内のみ配食します。 JAデイサービスセンターふれあい(日曜日を除く)…①夕食のみです。②村内全域に配食します。
- 申し込み・問合せ 福祉部高齢福祉課高齢福祉係(内線1165)

東海村青少年宣言推進大会

- 日 時 6月27日(日) 午前9時～11時45分
- 場 所 真崎コミュニティセンター
- 内 容 パネルディスカッション テーマ「毎週土曜日はテレビの声より家族の声」
- コーディネーター／門脇厚司さん(東京家政学院筑波女子大学学長) パネリスト／小児科医、ノーテレビデーチャレンジ家族など
- 問 合 せ 青少年センター

落語VS邦楽“柳家花緑+EAST CURRENT”

人気落語家「柳家花緑」と、尺八演奏者「藤原道山」、琴演奏者「みやざきみえこ」によるスーパーユニット「EAST CURRENT (イーストカレント)」が夢の競演。ぜひ、ご来場ください。

- 期 日 7月2日(金)
- 時 間 午後6時開場 午後6時30分開演
- 入 場 料 全席指定3,500円(当日500円増し)
- そ の 他 未就学児は入場できません。託児サービス(1,000円/人)の利用をご希望の方は、6月25日(金)までに申し込みください。
- 申し込み・問合せ (財)東海村文化・スポーツ振興財団(東海文化センター内)



ちびっこ美術館
宿幼稚園●伊藤晃太くん

サッカー

お父さんとサッカーをして遊んでいるときの様子をかいてくれた晃太くん(5歳)。

「カードゲームで遊んだりするけど、外で遊ぶサッカーが一番大好き!」と元気に話してくれました。

ぼくの夢 Dream-39 わたしの夢



夢は…。“公務員”

中丸小学校6年●山口拓也

ぼくの将来の夢は、役場や市役所に勤めることです。その理由は、その市や町・村の人々の役に立ちたいからです。東海村役場にはたくさんの課がありますが、ぼくは、そのたくさんある課のいろいろな仕事をやって、住民の人々のために頑張りたいと思います。

以前、選挙があったときに、役場の人が付受や会場作りをしているのを見たことがあります。大変そうだなと思うと同時に、一度やってみたいとも思いました。役場の人たちは、いろいろな仕事をして、より良い村をつくるために努力しているんだと感じました。

これからぼくが、役場で働くためにどんな勉強をすればよいのかまだよく分かりませんが、まずは小学校の勉強をしっかりやるのが大事だと思っています。先生の言うことをよく聞き、友達と仲良く助け合いながら、自分の目標に向かって頑張っていきたいです。

わが家の 子育て奮戦記

毎日が元気な声・明るい笑い声・大きな泣き声でにぎやかなわが家には、翔太(5歳3か月)、淳也(3歳8か月)の元気な男の子2人がいます。年が近いせいも、双子のような2人はケンカも多いのですが、気が付くと2人仲良くブロックで武器や乗り物を作ったり、テーブルの下にクッションを並べて秘密基地を作ったりして遊んでいます。

今、子育てについて振り返ると、2人の性格の大きな差に頭を悩ませたことがあります。翔太は初めての子どもということから、子育てに不安を持ちつつも、あまり手が掛からない子でしたが、淳也は2歳ごろから自己主張が強く、何か気に入らないことがあると、1時間くらいは平気で泣き続けていました。夜泣きも激しく、朝までぐっすり寝てくれないこともしばしば。私は、子育てへの不安や思いどおりにならないもどかしさでストレスがたまり、気が付けば2人を怒ってばかりの怖い顔のママになっていました。でも、怒った後に「ゴメンネ」

表紙の「ひと」

田中 美由紀



と泣いて抱きしめることも…。そんなとき、子育てに協力してくれるパパと、同居しているおじいちゃんやおばあちゃんのおかげで、少しずつストレスも無くなり、「優しい顔のママで2人に接することができるようになりました。それからは、サークルなどに足を運び、同世代の子どもを持つお母さん方と、子育て話や世間話などをしてストレスを解消しています。そして、2人がお友達と遊んでいるときの姿や笑顔を見て、また頑張ろうという気持ちになれます。2人とも、まだまだ甘えん坊で、いまだに抱っこが大好きですが、最近では手伝いもしてくれるし、私の体調が悪いときや落ち込んでいるときに、「ママ大丈夫?」などと優しい言葉を掛けてくれるので、少しずつですが成長しているんだなあとうれしく思います。

これからも悩むことがあると思いますが、私を支えてくれる周りの人たちに感謝し、2人の笑顔を励みに、今しかできない子育てを楽しみながら、子どもたちとともに成長していきたいと思えます。

